

令和5年度第3回 市川市社会福祉審議会
地域福祉専門分科会 会議録

1. 開催日時

令和6年1月19日(金) 午前10時00分～午前11時00分

2. 開催場所

市川市役所第1庁舎6階 理事者控室

3. 出席者

【委員】

森高委員(会長)、山崎委員(副会長)、岩松委員、久保木委員、佐藤委員、
坪井委員、松尾委員、村山委員

(欠席者1名)

【市川市】

寺島地域共生課長ほか

4. 傍聴者

0名

5. 議事

(1)第5期市川市地域福祉計画(案)について

(2)その他

6. 配付資料

・会議次第

・資料1 第5期市川市地域福祉計画【令和6～11年度】(案)への意見募集結果について

・資料2 第5期市川市地域福祉計画(案)

・資料3 市川市社会福祉審議会 地域福祉専門分科会について

7. 議事録

(午前 10 時 00 分開会)

| 発言者 | 発言内容 |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <p>(1) 第5期市川市地域福祉計画（案）について</p> |
| 森高会長 | <p>まず、議題(1)第5期市川市地域福祉計画（案）について、事務局より説明をお願いいたします。</p> |
| 地域共生課長 | <p>(資料 1、2に基づき説明)</p> |
| 森高会長 | <p>ただいま事務局より説明がありました。委員の皆様からご質問等はございますでしょうか。なお、本日配布されています計画（案）については、2月8日に開催される令和5年第4回市川市社会福祉審議会に示す内容となっていますので、審議会に向けて、修正や追加といったご意見等のほか、特にご意見等がない場合であっても、ご感想をいただければと思いますので、よろしくをお願いします。</p> |
| 村山委員 | <p>私からは三つあります。</p> <p>一つ目は、計画書案69ページから70ページにおいて、コーディネーターに関するコラムを記載されていますが、地域生活支援拠点等コーディネーターについて、(1)緊急前支援、(2)緊急時支援、(3)緊急後支援の3つの役割が記載されています。一方、地域生活支援拠点の重要な役割として、不足している福祉サービスの受け皿の整備などの地域の体制づくりと大事な福祉支援者の人材育成がありますが、こちらの役割についても、コーディネーターの役割として記載していただけるか検討をお願いします。</p> <p>二つ目は、計画書案100ページの福祉教育って何？というコラムについて、各学校等における取組例が記載されていますが、知的障害の疑似体験をコロナ禍以前から実施し、またコロナ禍明けからも再開しているので、知的障害の疑似体験もこちらの取組例として記載していただけるか検討をお願いします。</p> <p>三つ目は、計画書案121ページの市川市成年後見制度利用促進基本計画がありますが、現行の個別計画は、24ページある中、2ページにまとめられています。個別計画では、成年後見制度の申立て件数や成年後見制度利用者数など実態が記載され、非常に参考になりますし、これらの数値は、今後支援が充実していくかなどの評価につながるとと思いますので、記載していただきたいです。地域福祉計画に包含される中で、どのような形式でも構いませんので、地域福祉計画に組み込んでいただければと思います。</p> |

| | |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 地域共生課長 | <p>一つ目の地域生活支援拠点等コーディネーターと二つ目の福祉教育の項目については、事務局にて改めて精査し、検討したいと考えております。</p> <p>三つ目の市川市成年後見制度利用促進基本計画については、個別計画として昨年度策定しました。地域福祉計画は、6年間の計画期間になり、相談件数など変更が生じる可能性があることから、所管課とも協議し、掲載しないものしたのですが、必要な記載事項については、すべて地域福祉計画の中にも盛り込んでいます。ただ、利用状況や相談状況などは重要な要素になりますので、市公式Webサイト等に掲載し、皆様に現状をお知らせできるように、調整をしていきたいと考えております。</p> |
| 岩松委員 | <p>計画書案67ページの福祉コミュニティの充実におけるそれぞれの役割について、自助であれば個人の役割、互助・共助であれば地域の役割が記載されていますが、地域住民に個人の役割が中々浸透していない状況です。また、自治会等を通して情報を発信していますが、自治会の加入率の低迷や地域の担い手が不足により意思が醸成されていないのが実態です。こちらの計画書案の内容は非常に素晴らしいものですので、どのように地域住民に伝えていくか、地域住民に実効性のある情報発信を検討していかなければならないと思います。</p> <p>次に、計画書案116ページ、117ページの地域福祉を推進する主な取組み事業を実施した成果を確認するための成果指標の基準値を設定するために、令和6年1月に市民に対しアンケートを実施するとのことで、健康に関する項目を設けられていて、団体活動を提案する中でも役立つデータになると思います。</p> |
| 地域共生課長 | <p>おっしゃるとおり、地域の団体の役割を認識していただくために、実効性のある周知は非常に重要になってくると考えております。現在も地区社会福祉協議会などに向けて周知を行っているところではありますが、相談員会議など様々な地域の会議の場を活用し、本市の事業や市制施行90周年に向けた事業など、引き続き周知していきたいと思います。</p> <p>また、健康に関する意識調査についても、引き続き実施するとともに、市民のニーズ、ご意見等をと把握していきたいと考えております。</p> |
| 松尾委員 | <p>岩松委員からの発言にありましたが、計画書案66ページの福祉コミュニティの充実に関する情報発信について、これまでも行ってきましたが、現在、社会福祉協議会においても、地域福祉活動計画を策定しているところで、これまで以上に情報発信や意識付けを行うとともに、具体的な取組などは今後評価してまいりたいと考えています。</p> <p>次に、計画書案76ページ、96ページに具体的な取組事例が図解を用いて掲載され、市民の方にもわかりやすく、ご理解いただきやすいというところ</p> |

| | |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <p>ろが、非常に良いと感じました。</p> |
| 森高会長 | <p>地域ケアシステムの活動地区ごとに福祉圏域が設定されており、地域福祉活動は、地区社会福祉協議会の活動や自治会活動を軸に、広げていかなければならないと思います。計画書案において、自治会の加入率が下がっていると示されていますが、現在の社会福祉協議会の会員数はいかがでしょうか。</p> |
| 松尾委員 | <p>自治会員の募集にあたっては、自治会を通してお願いしていますので、自治会員数が増加しないため、それに比例して増加していないのが現状です。</p> |
| 森高会長 | <p>社会福祉協議会の活動は、全世代に向けて実施、発信されていると思いますが、受け手側としては理解が難しい部分があると思いますので、社会福祉協議会と自治会と一緒に裾野を広げていくことが必要かと思います。また、計画書案では自治会活動の支援が組み込まれており、また、社会福祉協議会の互助・共助の取組を評価されることも記載されていますので、情報発信と併せて強く打ち出していただくと良いと思います。</p> |
| 岩松委員 | <p>高齢者クラブのメインテーマは健康づくりと地域づくりである中、計画書案87ページの健康ポイントArucoは正に基本的な部分であると感じますが、高齢者の方でも取り組みやすい申込方法や発信方法を検討していただきたいと思います。</p> |
| 森高会長 | <p>高齢者の方々はスマートフォンの操作など難しいところはあるかと思いますが、これからは非常に重要な連絡手段や情報発信の手段ですので、若い世代が使い方を教えるといったことなどを通して世代交流を図るということもあるかと思いますが、そういった効果を含め、イベント的なものも進めていただくと良いと思います。</p> |
| 山崎副会長 | <p>健康ポイントArucoについては、12月から行徳支所に機器を導入し、市職員の方がサポートされていると伺っていますので、今後徐々に広がっていくのかなと思います。</p> <p>次に、先程の社会福祉協議会の活動に関する情報発信についてですが、毎月の催し物のお知らせを各地域ケアシステムの拠点にて配布しています。私自身、サロンを運営していますが、活動日時や活動内容を記載した名刺を作成し、広く周知活動を行っています。その周知活動を通じ、口コミで広がっていくのも、一つの手段ではないかを思います。先日、高齢者サポートセンターの職員が、サロンに参加する認知症の方をご覧になっ</p> |

| | |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 村山委員 | <p>て、こんなに元気に声を出している姿を初めて見ましたと言われていました。サロンには、そのような効果もありますので、是非多くの方に参加していただければと思っています。</p> <p>健康ポイントArucoのほかに、市川みんなで体操というとても良い取組ではありますが、計画書案には掲載されていません。新たな取組に加え、既に実施している取組を並行して実施していくことが重要だと思います。</p> <p>次に、自治会加入率が約50%ということについて、加入率が増加しない限り、地域の担い手も増えず、また、回覧等で様々な催し物を周知しても周知が行き届かない状況です。</p> |
| 森高会長 | <p>住民自治に対する意識が昔と大きく変わってしまっています。福祉教育も含めて積極的に取り組んでいただければと思います。</p> |
| 久保木委員 | <p>パブリックコメントについて、ご意見が少ないように感じます。本計画は自助を非常に大事されており、市民の皆様にお伝えしていくことが大事な中身であると感じていますが、今後どのように本計画を周知していくのか、また、これまでのパブリックコメントの結果も同様であったのか伺います。</p> |
| 地域共生課 | <p>事務局としましても、ご意見が少ないという印象です。本計画を策定するにあたって、地域の代表者の方で構成される地区推進会議において、ご説明させていただきましたが、パブリックコメントでのご意見等は頂戴していない状況です。ただ、地区社会福祉協議会を中心に様々な意見を頂戴していることであり、ご意見を反映できるもの、できないものを振り分けさせていただき、計画書案に反映している状況となっています。</p> <p>計画書の周知については、体裁等を整え、3月に完成させ、4月に地区社会福祉協議会や自治会など各関係機関に配布する予定となっていますが、計画書とは別に概要版として小冊子を併せて配布する予定としています。</p> |
| 坪井委員 | <p>これまで実施されていた高齢者向けの体操教室が実施されなくなったと知人より伺ったのですが、実施しなくなったのでしょうか。</p> |
| 地域共生課長 | <p>他部署の実施事業になるかと思いますが、おっしゃるとおり、抽選での体操教室があったと認識しております。健康づくり関わるものなどについては、地域住民が主体となって活動を行う方向性に転換していると聞いています。そのような中で、市川みんなで体操などにシフトチェンジしてきているのではないかと認識しております。</p> |

| | |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 坪井委員 | <p>ありがとうございます。</p> <p>計画書案76ページ、96ページの具体的な取組事例やコラムなどが掲載されており、非常にわかりやすい計画だと思います。</p> |
| 岩松委員 | <p>以前開催された審議会の配布資料において、年齢別認定率など健康寿命の延伸に寄与するデータを掲載するとされていたが、掲載されると非常に参考になると思います。また、千葉県の統計データも活用するとされていましたが、示されるのでしょうか。</p> |
| 地域共生課長 | <p>健康寿命の延伸に関し千葉県の統計データを使用することについて、この場でお答えができないので、所管課へ確認させていただきたいと思います。介護の認定率については、現在本市の介護認定者数は、約2万弱ぐらいになります。こちらは、令和4年度に比べて認定率は低くなったというふうに聞いています。本市では、健康寿命日本一に向け、まず、外出することが介護予防にも繋がる重要なことだというふうに考えていますので、社会とつながりつつ、介護予防、健康でいられるような、事業に取り組んでいきたいと考えております。</p> |
| 岩松委員 | <p>11月14日の社会福祉審議会において、健康寿命の延伸と介護認定率について、今年度の状況を取りまとめ、計画的に記載する旨の発言がありましたが、記載することは可能でしょうか。</p> |
| 地域共生課 | <p>本件について、本分科会に出席している職員では説明することができませんので、改めて確認させていただきます。</p> |
| 森高会長 | <p>村山委員からの発言にもありましたが、様々なデータが示されることは非常に重要ですし、データに基づいて市民の方も活動したいということだと思います。特に圏域を分け、地域福祉活動を推進していくにあたっては、各圏域の違いなどが示されると、それぞれの地域で自分事として捉えやすくなると思います。</p> |
| 岩松委員 | <p>福祉施策を推進するにあたっては、垣根を越えて各事業に取り組むことが重要です。健康ポイントArucoの実施に際し示されたデータなども拝見しましたが、様々なデータを活用し、健康寿命の延伸が図られると良いと思います。</p> |
| 佐藤委員 | <p>今回示された計画書案は、以前示されたものに比べ、見やすいものになっていると感じました。これまで高齢分野に携わり、最近では自分自身も自治会活動に参加するようになり、活動している中で、自治会の方々も高</p> |

| | |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <p>齢化が進み、若い世代へ継承されていないものもあるように感じる場面があります。コロナ禍では回覧板や地域活動も減少しましたが、今年度に入り地域活動が活発になる中、夏祭りなどには若い世代の方々も参加されていきましたので、このような機会を増やすことで、様々な活動を宣伝できるのではないかと感じました。コロナ禍が明けましたので、高齢者だけでなく育児に困っている方など様々な属性の方々が外出できるような支援をしていただけるとありがたいなと思います。</p> <p style="text-align: center;">(2)その他</p> |
| 森高会長 | それでは議題(2)その他について、事務局より説明をお願いいたします。 |
| 地域共生課長 | (資料3に基づき説明) |
| 森高会長 | ただいま事務局より説明がありました。委員の皆様からご質問等はございますでしょうか。 |
| 村山委員 | 本事業の評価は非常に難しいと感じるところですが、実際に活動しているコミュニティソーシャルワーカーの方が出席し、質疑応答ができるのでしょうか。 |
| 地域共生課 | おっしゃるとおり、実際に活動しているコミュニティソーシャルワーカーの方がより具体的な活動内容等を説明することができると思いますが、本事業は市の委託事業になりますので、コミュニティソーシャルワーカーの出席については、現在検討しております。 |
| 森高会長 | 他にご意見等はございますでしょうか。 |
| | それでは、令和5年度第3回市川市社会福祉審議会 地域福祉専門分科会を終了いたします。 |

(11時00分閉会)

市川市社会福祉審議会地域福祉専門分科会
会長 森高 伸明